

ペットも遊び回れる和室二十畳の部屋



おきな旅館で看板猫と遊ぶ金子社長(右)と女将の美奈子さん



犬猫殺処分ゼロ

寄付型宿泊プラン開始

「ペットと泊まれる宿」として知られる福島市飯坂町のおきな旅館は、宿泊料金の一部が犬猫の殺処分ゼロに役立てられる寄付型宿泊プランを開始した。「ペットは家族の一員」。女将の金子美奈子さんは、全ての動物が幸せに暮らせる社会を願う。

飯坂の旅館、利用呼びかけ

おきな旅館がペットと一緒に宿泊できるようになったのは約30年前という。旅館と駐車場を何度も往復する宿泊客があり、事情を聞く(車の中にいる)連れてきた犬が心配」と答えた。「中はどうぞ」と声をかけ、ペットの受け入れが始まったという。

おきな旅館には現在、4匹の看板猫がいる。玄関口で宿泊客を出迎えたり、スリッパの上で眠ったり。5歳の「セイ」は、旅行情報誌「じゃらん」のアンケイトで「会ってみたいと思う宿の看板ネコ」で1位に選ばれたこともある。宿泊客の8〜9割はペット同伴で、看板猫に会いに来る宿泊客も多いという。

おきな旅館は、ペット同伴の宿泊客がさらに快適に過ごせるよう、大規模な改修工事を実施した。和室二十畳で犬や猫が走り回れるような広さを持つ部屋も四つでき、この部屋を利用する「Save the petsプラン」では、1予約につき1〜2万円(ワン

▲6月16日 福島民友新聞掲載

おきな旅館で、ペットと一緒に泊まれるようになったのは、どのようなことからですか？

おきな旅館では、ペットの快適な受け入れにどのような改修をしましたか？

犬猫の殺処分ゼロに向かう「寄付型宿泊プラン」の導入について、あなたの考えをまとめてみましょう。